

第1回「早明浦ダム濁水対策新技術検討委員会（仮称）」の開催

1. 委員会の開催について

早明浦ダムの濁水対策技術について、新技術公募（公募期間：9月15日～11月30日）を行ったところ、様々な技術やアイデアなど、57件の応募がありました。

今回の新技術公募では、これまで着目されていない土木分野以外の異分野技術や分野をまたがる効果的な技術の組み合わせ等、新たな視点・分野技術について適切に評価し、審査・選定を行うため、「早明浦ダム濁水対策新技術検討委員会（仮称）」を設置し、開催することになりました。

第1回委員会では、57件の応募技術から一次審査として、有用な技術の絞り込みを行います。

2. 開催日時・場所

開催日時：平成22年3月26日（金）11時～15時
（但し、12時から13時までは昼休憩といたします）

開催場所：高知県土佐郡土佐町田井5591-5
（独）早明浦ダム・高知分水管理所「ふれあいホール2F」
TEL (0887) 82-0485

3. 内容

- ・早明浦ダム濁水対策新技術検討委員会（仮称）」の設立
- ・応募技術の審査・選定（一次審査）

4. 1次審査を通過した技術は・・・

一次審査を通過した技術は、来年度開催される委員会において、応募者とのヒアリング等、より具体的・専門的な審査を経て二次選定が行われ、現地実証実験等の候補となる有用な技術が選定されます。

5. 技術審査の公開について

本委員会における技術審査の詳細については、公平な審議及び応募者の意向等を踏まえ、一般には非公開とさせていただきますが、結果については公表させていただきます。

平成22年3月17日

問い合わせ先

事務局：国土交通省吉野川ダム統合管理事務所

調査・品質確保課 課長 みなみ 南 あきひろ 昭裕
計画係長 そうた 造田 やすもり 康盛

TEL (0883) 72-3000 FAX (0883) 76-0301

第1回 早明浦ダム濁水対策新技術検討委員会(仮称)

日時：平成22年3月26日(金) 11:00～15:00

場所：(独)水資源機構 早明浦ダム・高地分水管理所
「ふれあいホール2F」

議事次第(案)

1. 開 会----- 11:00
2. 挨拶----- 11:00～11:05
国土交通省四国地方整備局
3. 議 事----- 11:05～14:50
 - (1) 委員会設立
 - (2) 濁水対策技術選定検討
 - ① 早明浦ダム濁水対策の検討経緯
 - ② 早明浦ダム濁水の概要
----- < 昼食・ダムサイト現地案内 > ----- 12:00～13:00
 - ③ 応募技術の概要
 - ④ 応募技術選定検討
 - ⑤ 今後の進め方
 - ⑥ 議事のとりまとめ
4. 閉 会----- 14:50～15:00

※なお、報道関係の方の傍聴は、大変申し訳ありませんが午前のみとさせていただきます。

技術公募の概要

1.1 公募の背景と目的

早明浦ダムは長年にわたり、濁水長期化問題を抱えてきた。出水時に流入した微細な濁質が躍層上に拡散混合し、放流水が長期間濁水化する洪水濁水、あるいは、貯水池の水位が低下している渇水期の出水で、流入端に堆積している微細粒子が巻き上がって流入し、貯留水全体が濁水となって放流水が長期間濁水化する渇水濁水があり、ダム下流河川の景観の悪化などが懸念されている。

これまで多種多様な対策案を検討し、また講じたことにより一定の効果が得られているが、今回、土木技術分野以外の異分野も含め、広く色々な分野の技術やアイデアを募りその評価を経て、実効性や経済性に優れた濁水対策計画の策定に資することを目的としています。

公募のテーマ：「早明浦ダム濁水対策として有効な濁水対策技術」

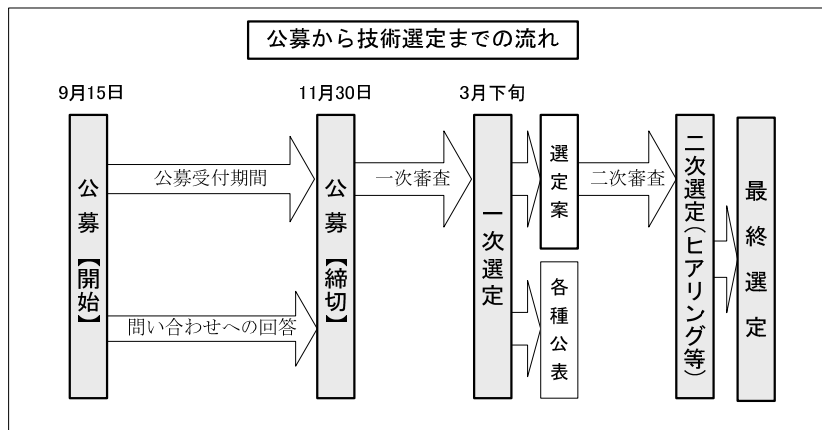
1.2 対象とする技術・要件

- これまで着目されていない、土木分野以外の異分野技術による対策
- 既往検討における課題の解決や副次的に濁水対策の促進に繋がる技術（浚渫土砂の再利用、等）
- 分野をまたがる対策の効果的な組み合わせ技術
- 技術・対策の設置位置、適用位置として公募対象とする範囲についても特に制限を設けない。
- 「新たな視点による対策」、「既往の濁水対策」それぞれを対象とする。

1.3 応募資格

- 資格 A：提案する濁水対策技術について現地実験・シミュレーションなど合理的な手法により、その有効性を自ら実証できる技術、体制などを有する者、もしくは団体の資格を満足するものとする。
- 資格 B：資格 A に該当しない者、もしくは団体。

1.4 スケジュールの概要



応募結果の概要

1.5 応募・申請結果の概要

- ・公募の案内件数及び応募件(者)数

(単位：件)

区分	案内送付先の件数	応募案 受付件数
NETIS関係	79	18
ゼネコン関係	18	13
大学関係	5	1
水処理メーカー関連	86	0
製紙業関連	15	0
酒造メーカー関連	7	0
建設技術展出展関係	9	1
その他	13	24
合計	232	57

- ・応募技術の主たる分野毎件数

(単位：件)

対策の分野		申請件数	小計
流域対策	流域対策	5	13
	湖岸法面对策	2	
	流入河川対策	6	
貯水池内対策	堆積濁質の除去	6	24
	巻上げ防止	5	
	貯砂・副ダム	0	
	湖内での濁水制御に関する分野	5	
	湖内での濁質低減に関する分野	8	
放流水対放流水対策	清水放流に関する分野	3	7
	放流水浄化	4	
浚渫	土砂の処分・有効利用	10	10
維持管理		0	
その他		3	3
合計		57	57

技術公募のご案内

早明浦ダムは長年にわたり、濁水長期化問題を抱えてきました。濁水長期化問題とは、出水後や渇水時に長期間にわたり、ダムから濁水が放流される現象であり、ダム下流河川の景観の悪化などが懸念されています。

当ダムにおいては、これまで選択取水設備の改善やグリーンベルト事業（貯水池のり面保全整備）など多くの対策案を検討し、また実施してきたことにより一定の効果が得られていますが、さらなる改善が求められています。

そこで、この度、**色々な分野の技術やアイデアを対象に**、効果的な対策の提案を期待して技術公募を行うこととしました。

皆様、ふるってご応募下さい。なお、応募資格、応募方法などの詳細は、吉野川ダム統合管理事務所のホームページをご覧ください。

こんな技術やアイデアがありませんか？

- ・大量の濁水を迅速かつ安価に処理できる技術
- ・大量の濁水が早明浦ダムに入ってこないようにする技術(山地山林の斜面崩壊を防ぐ技術)
- ・ダム貯水池堆積土砂の浚渫や有効活用する技術など。



【公募要項】（抜粋）

公募の背景と目的

早明浦ダムは長年にわたり、濁水長期化問題を抱えてきました。濁水長期化問題とは、出水後や渇水時に長期間にわたりダムから濁水が放流される現象であり、ダム下流河川の景観の悪化などが懸念されています。

これに対して、これまでには多種多様な対策案を検討し、また講じてきたことにより、一定の効果が得られていますが、問題の解消には至っていません。

このような経緯の中、色々な分野の技術やアイデアを対象に、効果的な対策の確保を目的に技術公募を行うこととしました。

テーマ

早明浦ダム濁水対策として有効な濁水対策技術

対象とする技術や条件について

技術の分野、種別、規模などに対して制限は設けません。

応募期間

平成 21 年 9 月 15 日～同年 11 月 30 日(必着)

応募数

制限は設けませんが、応募 1 点につき、所定の提出物一式を準備してください。

審査委員

早明浦ダム濁水対策に精通した学識経験者ならびに関係者で構成する委員会を設立する予定です。

審査基準

応募された対策の効果、有効性、実現性等について、委員の議論による選定を行う予定です。

結果の通知、公表ならびに応募後のスケジュール

1. 応募書類を委員会で審査します。なお、必要に応じて追加説明資料の提出あるいは委員会でのプレゼンテーションを求めることもあります。
2. 審査により早明浦ダム濁水対策として有望な濁水対策技術を 1 ないし複数選定します。
3. 結果については、選定・不選定にかかわらず応募者の代表者へ文書で通知します。また、応募者の意向を確認の上、ホームページ上での結果公表、マスコミへの公表などにより、技術が選定された旨公表する予定です。
4. 審査後、濁水対策の実証計画の準備、提出についての協議を行う予定です。

その他、下記事項は、別途ホームページに掲載する公募要項を参照にしてください

- ◆ 応募資格、応募方法(資料作成要領、問い合わせ方法、問い合わせ先)、提出物に関するその他注意事項
- ◆ なお、採用対策技術の権利は応募者に帰属しますが、応募内容を早明浦ダム濁水対策として主催者が検討または使用することを応募者は許諾するものとします。